

平成 28 年 10 月度活動報告

1. 総括

今月も皆様のお陰様をもちまして、議員活動に励ませて頂きました。誠にありがとうございました。10月には主に委員会視察、議員研修会、会派視察等次の議会に向けて自己研鑽をさせて頂きました。また平成 27 年度予算の決算委員会が 11 月上旬にあり、その準備の為平成 27 年度歳入歳出決算書等の読み込み、勉強会等会派で実施致しました。予算立てされ実行された平成 27 年度の事業が当初の趣旨通り行われ、敦賀市または市民の為になったか等綿密に調査します。議会の仕事の一つである決算の審査議決を抜け目なくできるように全力を尽くす所存です。今月は今後の敦賀市に非常に重要な案件におきて議員説明会がありました。一つ目は「**庁舎整備計画中間報告について**」です。中間報告でありましたが理事者(市長)の方向性としては平成 36 年度(2024 年)に建替えによる新庁舎の整備が濃厚です。建て替え場所は未定であり今後議論を重ねて行くと思えます。二つ目は「**公共施設等総合管理計画について**」です。今後の人口減に対応する形で公共施設を適切に縮小していくという計画の説明です。敦賀市は他市と比べ 1 人当たりの公共施設保有量が全国市平均の 1.7 倍あり、今後の 20 年以内に全体の 5 割以上が築 50 年を経過し老朽化が進行するとの事です。市民の皆様方が愛用されている公共施設が縮小されていくことは非常に心苦しく感じます。しかし財政への維持管理費の負担等も勘案し次の世代に安定的な敦賀を残して行く為にも議員として市民の方々よりご意見を頂き、また自分で調査して最善の計画になるように議論をしていきたいと思えます。三つ目は「**敦賀市のエネルギー構造転換理解促進事業について**」です。原子力廃炉自治体を中心にエネルギー構造展開を推進し、地域の理解を促進することが目的であり、国の補助金を申請し水素エネルギー等活用可能性の調査を進めていくとの説明でした。原子力事業の先行きが不透明な中、当市して前向きな取り組みだと感じており少しでも敦賀市の新たな経済活動が活発になるように取組んで頂きたいと感じ、議員として応援していきたいと考えております。

2. 総務民生常任委員会行政視察の概要報告

①行政視察場所：大阪府堺市 (10/20)

調査事項：キッズサポートセンターさかい事業について

公共と民間のパートナーシップによる子育て支援の可能性を調査する為、先進的に取り組んでいる大阪府堺市のキッズサポートセンターさかい事業の説明を受け、現場を視察した。JR 堺市駅前にある高島屋からの提案で 9 階フロアの一部を活用して**子育て支援機能の強化と都心部(中心市街地)の賑わいづくり**を目指し平成 26 年 4 月より運営開始。現場も視察したが多くの親子が公用スペース、民間スペース(有料)とも活用しており事業として機能していると感じた。想定来客数も想定の年間 10 万人であったが、実績として 14 万に前後が来客しているとのことであり、人の流れとして駅前中心市街地の賑わいにも効果がでていたとの事である。また大阪大学との連携により発達障害の早期発見・支援を実施できよう相談スペースを設けて週 2 回程度相談会を実施していた。また同じフロアに「堺マザーズハローワーク」があり様々な角度で子育て支援が考えられた場所になっていた。少しコンセプトは違うが敦賀市もアクアトム後に「あそび・まなび・子ども広場」を開設予定であり、子どもだけではなく保護者の支援になる情報等の提供も有益であると感じ今後提言していきたいと視察を通し感じた。



以上